

教 育 委 員 会 の 点検・評価報告書

令和2年5月
茂原市教育委員会

目 次

1	点検・評価の趣旨等.....	3
	（1）趣旨.....	3
	（2）目的.....	3
	（3）対象.....	3
	（4）点検・評価の流れ.....	3
	（5）教育委員会構成員（令和2年4月1日現在）.....	4
2	教育委員会の活動状況.....	4
	（1）教育委員会会議.....	4
	（2）総合教育会議.....	7
	（3）教育委員会会議以外の主な活動状況.....	7
3	各種施策について.....	9
	（1）教育施策の大綱に基づく施策表.....	9
	（2）教育方針及び重点施策.....	10
4	各施策の点検評価報告書.....	17
	1－（1）学力の向上.....	18
	1－（2）幼児教育・保育の充実.....	20
	1－（3）読書活動の推進.....	21
	1－（4）国際理解教育の推進.....	22
	2－（1）いじめ・暴力行為等の問題への取り組みの徹底.....	23
	2－（2）道徳教育の推進.....	24
	2－（3）学校・家庭・地域が一体となった教育の推進.....	25
	2－（4）青少年の健全育成と家庭教育の充実.....	26
	2－（5）セーフティネットの構築.....	27

3－（１）芸術文化の創造と個性の伸長	28
3－（２）いつでも・どこでも・だれでも学べる場の提供	30
3－（３）変化の激しい時代を生き抜く生涯を通した学習支援	31
3－（４）スポーツ環境の充実	32
3－（５）スポーツ・レクリエーションの普及	33
4－（１）地域を担う人材の育成	34
4－（２）安全・安心な教育環境の確保	35
4－（３）文化財・伝統文化の維持、保存、活用の推進	37
4－（４）学校・家庭・地域連携によるコミュニティの形成	39

1 点検・評価の趣旨等

(1) 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

茂原市教育委員会では、この規定に基づき令和元年度における事務の管理及び執行状況について点検・評価を実施します。

○ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

(2) 目的

教育委員会に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行うことで、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的とします。

(3) 対象

「茂原市教育施策の大綱」及び「令和元年度茂原市の教育方針及び重点施策」により進めた事業を対象として、点検・評価を実施いたしました。各事業の課題等を明らかにするとともに、今後の方向性について示しました。

(4) 点検・評価の流れ

- ① 担当課での報告書の作成
- ② 教育委員会による点検・評価
- ③ 改善への取組
- ④ 議会への報告
- ⑤ 市ウェブページにより市民へ公表

(5) 教育委員会構成員（令和2年4月1日現在）

役職名	氏 名	任 期
教育長	内 田 達 也	平成 30 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
委 員 (教育長職務代理者)	安 藤 明 子	令和 2 年 1 月 1 日～令和 5 年 12 月 31 日
委 員	齋 藤 晟	平成 30 年 10 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日
委 員	高 貫 裕一郎	平成 28 年 10 月 1 日～令和 2 年 9 月 30 日
委 員	高 仲 輝 夫	平成 29 年 7 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議

令和元年度は、定例会 12 回と臨時会 1 回の合計 13 回開催しました。

また、教育委員会と教員との相互理解を深めるため、新任の学校教諭、新教頭を対象に教育委員会会議の傍聴、会議終了後の意見交換等も行いました。

① 開催回数（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）

	定例会	臨時会	計
回数	12	1	13

② 議決事項等

	開催日	議案番号及び議案名
4 月定例会	4 月 24 日	議案第 1 号 平成 31 年度教科用図書長生採択地区協議会委員の選任について 議案第 2 号 茂原市立学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例を制定するよう市長に申し入れることについて 議案第 3 号 茂原市学校再編審議会委員の委嘱について 議案第 4 号 学校評議員の委嘱について 議案第 5 号 茂原市教育支援委員会委員の委嘱について 議案第 6 号 茂原市社会教育委員の委嘱について 議案第 7 号 茂原市立図書館協議会委員の任命について 議案第 8 号 茂原市立美術館・郷土資料館委員の任命について 議案第 9 号 平成 30 年度教育委員会の点検・評価報告書について (報告事項：6 件)

	開催日	議案番号及び議案名
5月定例会	5月15日	議案第1号 令和元年度教科用図書長生採択地区協議会委員の選任について 議案第2号 茂原市青少年指導センター運営協議会委員の委嘱について 議案第3号 茂原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について (報告事項：2件)
6月定例会	6月25日	議案第1号 茂原市学校再編審議会委員の委嘱について 議案第2号 茂原市公民館運営審議会委員の委嘱について (報告事項：7件)
7月定例会	7月31日	議案第1号 令和2年度使用教科用図書の採択について 議案第2号 茂原市立図書館協議会委員の任命について (報告事項：2件)
8月定例会	8月21日	議案第1号 茂原市学校給食センターの管理及び運営に関する規則の制定について 議案第2号 茂原市教育委員会行政組織規則及び茂原市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 茂原市教育委員会処務規程の一部を改正する等の訓令の制定について 議案第4号 茂原市立幼稚園給食実施要綱の制定について 議案第5号 茂原市立幼稚園の保育料に関する規則の一部を改正する規則の制定について (報告事項：3件)
9月定例会	9月25日	議案第1号 令和元年度茂原市教育功労者被表彰者の決定について 議案第2号 茂原市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 茂原市立幼稚園の保育料に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第4号 茂原市立幼稚園給食実施要綱の一部を改正する告示の制定について (報告事項：3件)(傍聴者5名)

	開催日	議案番号及び議案名
10 月定例会	10 月 29 日	議案第 1 号 指定管理者の指定について議会の議決を求めるよう市長に申し入れることについて 議案第 2 号 茂原市青少年指導センター設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 3 号 茂原市副食費の施設による徴収に係る補足給付事業実施要綱の制定について (報告事項：2 件)(傍聴者 3 名)
11 月定例会	11 月 19 日	議案第 1 号 茂原市教育委員会感謝状受賞者の決定について (報告事項：6 件)(傍聴者 7 名)
12 月定例会	12 月 18 日	議案第 1 号 茂原市立小学校及び中学校管理規則及び茂原市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 2 号 茂原市文化財審議会への諮問について 協議事項 茂原市立二宮小学校及び茂原市立緑ヶ丘小学校の統合校の校名について (報告事項：3 件)(傍聴者 3 名)
1 月定例会	1 月 29 日	議案第 1 号 茂原市立小学校設置条例の一部を改正する条例を制定するよう市長に申し入れることについて 議案第 2 号 茂原市学校再編審議会に対する諮問について 議案第 3 号 茂原市青少年指導センター運営協議会委員の委嘱について (報告事項：4 件)(傍聴者 4 名)
2 月定例会	2 月 17 日	議案第 1 号 茂原市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 2 号 令和 2 年度教科用図書長生採択地区協議会規約の制定の承認について 議案第 3 号 茂原市指定文化財の指定について (報告事項：3 件)
3 月臨時会	3 月 6 日	議案第 1 号 県費負担教職員のうち校長及び教頭の任免その他の進退に関する内申について (報告事項：1 件)

	開催日	議案番号及び議案名
3月定例会	3月25日	議案第1号 茂原市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について 議案第2号 茂原市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 茂原市学校給食施設検討委員会設置要綱及び茂原市学校給食センター再整備等PFI専門委員会設置要綱を廃止する告示の制定について 議案第4号 茂原市社会教育委員の委嘱について 議案第5号 茂原市立図書館協議会委員の任命について 議案第6号 茂原市文化財審議会委員の任命について 議案第7号 茂原市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第8号 茂原市スポーツ推進委員の委嘱について 議案第9号 令和2年度茂原市の教育方針及び重点施策について (報告事項：9件)

(2) 総合教育会議

総合教育会議は、市長と教育委員会で構成され、市長と教育委員会が円滑に意思疎通を図り、本市における教育の課題及び目指す姿等を共有しながら、相互に連携して教育を推進することを目的としており、令和元年度は2回開催しました。

議題等（平成31年4月～令和2年3月）

	開催日	協議・調整事項
第1回	9月25日	(1) 特別に支援が必要な児童・生徒への対応について (2) 学校再編の進捗状況について

	開催日	協議・調整事項
第2回	3月25日	(1) 新型コロナウイルス感染症防止のための対応について (2) いじめ防止に向けての取り組みについて (3) 茂原市小中一貫教育推進について

(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況

教育委員は、教育委員会会議への出席の他に学校を訪問して教育現場の状況を把握するとともに、議案や教育課題などに対する理解を深め、多面的な角度から議論を行うため、教科書採択会議、関係団体等が主催する研修会及び総会等にも参加しました。

・学校訪問

開催日	訪問先
令和 元年 6 月 19 日	茂原小学校・五郷小学校・二宮小学校・新治小学校 南中学校・本納中学校・東中学校

・入学式、入園式

開催日	訪問先
平成 31 年 4 月 9 日	東中学校・富士見中学校・南中学校・本納中学校
平成 31 年 4 月 10 日	東郷小学校・豊田小学校・茂原小学校・西小学校
平成 31 年 4 月 11 日	豊岡幼稚園・五郷幼稚園・新茂原幼稚園

・教科書採択

開催日	内 容
令和 元年 5 月 24 日	第 1 回教科書採択協議会
令和 元年 7 月 8 日	第 2 回教科書採択協議会

・研修会等

開催日	内 容
平成 31 年 4 月 26 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会総会
令和 元年 5 月 21 日	千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会
令和 元年 5 月 31 日	関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会・研修会
令和 元年 9 月 20 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会第 1 回理事会
令和 2 年 1 月 24 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会研修会
令和 2 年 1 月 30 日	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 第 2 回教育長・教育委員研修会
令和 2 年 2 月 10 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会第 2 回理事会
令和 2 年 3 月 26 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会第 3 回理事会

・その他行事

開催日	内 容
令和 元年 7 月 23 日	茂原市学校給食センター内覧会
令和 元年 10 月 2 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会要望書提出
令和 2 年 1 月 19 日	茂原市教育功労者表彰式
令和 2 年 1 月 29 日	茂原市教育委員会感謝状贈呈式
令和 2 年 2 月 17 日	茂原市教育委員会学芸・体育功労者表彰式
令和 2 年 3 月 26 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会表彰式

3 各種施策について

(1) 教育施策の大綱に基づく施策表

点検・評価は、茂原市教育施策の大綱に基づく施策について実施しています。

基本方針	施策の柱	主な担当課
1 社会を生き抜く力の育成	(1) 学力の向上	教育総務課 学校教育課
	(2) 幼児教育・保育の充実	学校教育課
	(3) 読書活動の推進	学校教育課 生涯学習課
	(4) 国際理解教育の推進	学校教育課
2 心を育む人間教育の推進	(1) いじめ・暴力行為等の問題への取り組みの徹底	
	(2) 道徳教育の推進	
	(3) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進	学校教育課 生涯学習課
	(4) 青少年の健全育成と家庭教育の充実	生涯学習課 青少年指導センター
	(5) セーフティネットの構築	学校教育課
3 芸術・文化・スポーツの振興	(1) 芸術文化の創造と個性の伸長	生涯学習課 中央公民館
	(2) いつでも・どこでも・だれでも学べる場の提供	美術館・郷土資料館 東部台文化会館
	(3) 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学習支援	生涯学習課
	(4) スポーツ環境の充実	体育課 生涯学習課 東部台文化会館
	(5) スポーツ・レクリエーションの普及	体育課
4 茂原を愛する心の育成	(1) 地域を担う人材の育成	教育総務課 学校教育課 生涯学習課
	(2) 安全・安心な教育環境の確保	教育総務課 学校教育課 生涯学習課
	(3) 文化財・伝統文化の維持、保存、活用	生涯学習課 美術館・郷土資料館
	(4) 学校・家庭・地域連携によるコミュニティの形成	学校教育課

（２）教育方針及び重点施策

茂原市教育施策の大綱により定めた令和元年度の教育方針及び重点施策は、次のとおりです。

令和元年度茂原市の教育方針及び重点施策

情報化、グローバル化、少子高齢化が加速度的に進展する世の中にあって、教育に対する期待は益々大きくなってきています。そこで『茂原市教育施策の大綱』に基づき、「人づくり」を中心的課題として捉え「ふるさと茂原を愛し、豊かな心と高い志を持って未来を主体的に生きる人づくり」を目標に、令和元年度茂原市の教育方針及び重点施策を次のように定め、各種事業を実施します。

基本方針 1

社会を生き抜く力の育成

（１）学力の向上

問題解決的な学習を推進するとともに、学習支援員の配置、学校図書館の活用を通して、基礎・基本の定着と学んだことを活用し考え表現する力、自主的に学習する態度を育みます。また、教員の経験年数に応じた参加型の研修を充実させることにより、教員の資質向上を図ります。

【令和元年度の取り組み】

- ・ 特色ある学校経営と次期学習指導要領の実施及び移行期間を見据えたカリキュラム・マネジメントの促進に努めるとともに、主体的・対話的で深い学びや思考力・判断力・表現力等の育成の視点からの授業改善と多様な体験活動を推進します。
- ・ 校長、教頭、教務主任、若年層教員の研修会や、茂原市教育研究協議会の研修において、自己の課題意識に基づいた自主的な研修を進め、教員の資質向上を図ります。
- ・ 「全国学力・学習状況調査」の結果を基にした指導方法の改善をもとに、個に応じた指導を取り入れ、児童生徒の学力の向上を図ります。
- ・ インクルーシブ教育システムの構築を目指し、多様な教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供に努め、特別支援教育の充実に努めます。
- ・ 「茂原市立中学校に係る部活動の方針（部活動ガイドライン）」に則り、各中学校は「学校の部活動に係る方針」を策定し、スポーツや文化等を通して、生徒が健全な心と身体を培い豊かな人間性を育むために、バランスの取れた活動に努めます。
- ・ 全ての学習の基盤となる「情報活用能力」の育成に取り組めるよう、特に小学校プログラミング教育を推進します。
- ・ 子どもたちにとって、より良い教育環境の確保を第一に考え、今後も「茂原市学校再編第一次実施計画」に基づき、学校再編を推進します。
- ・ 本市における特色ある教育を推進するため、小中一貫教育の調査研究に努めます。

（２）幼児教育・保育の充実

小学校に入学して集団行動ができない等の小１プロブレムを解消するため、基礎的な能力の育成を重視した教育課程を編成し、豊かな人間性を培う教育を推進するとともに、幼小連携を図る指導計画を作成し、幼児期から小学校生活に子どもがなじめるよう、就学前教育・保育の充実を図ります。

【令和元年度の取り組み】

- ・基礎的な能力の育成を重視した教育課程を編成し、豊かな人間性を培う教育の推進に努めます。
- ・小学校への円滑な接続を図るための、幼小連携の体制づくりを推進します。
- ・幼保一元化を見据え、幼稚園及び保育所の連携の推進に努めます。
- ・「公立保育所・幼稚園整備計画」により、民間事業者による認定子ども園設立を目指します。

（３）読書活動の推進

「第三次茂原市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の総合的・継続的な推進を図るため、学校と図書館との情報交換等の場を設け、各学校の実態に合わせた読書環境づくりの改善に向けて、相互に協力する体制を整備します。

【令和元年度の取り組み】

- ・本に親しむ意欲と態度を育成する読書活動の充実に努めます。
- ・学校司書の配置を段階的に進め、図書館と連携を図りながら、読書環境づくりに努めます。
- ・「茂原市立学校図書館・茂原市立図書館連絡会議」を継続して開催し、学校図書館の充実に努めるため、司書教諭や学校司書等の資質の向上に努めます。
- ・「茂原市子ども読書活動推進会議」を継続して開催し、第三次計画の進捗状況を点検するとともに、未達成な施策等に対策を講じます。
- ・学校図書館ボランティアを対象に、読み聞かせ等の講習会や情報交換会を開催し、読書環境の整備体制を充実させます。

（４）国際理解教育の推進

小学校における英語教科化に備えたE L T等による語学指導の充実、姉妹都市オーストラリア・ソルズベリー市への中学生等海外派遣事業の継続、帰国児童生徒及び外国人児童生徒への適応指導の充実等を通して、子どもたちが異なる文化に触れる機会を創出し、異文化を理解できる豊かな感性を育みます。

【令和元年度の取り組み】

- ・小学校における英語の教科化に向け、教員の指導力の向上のための研修の充実とカリキュラムの検討を進めます。また、A L Tを各校に配置してネイティブの発音に触れる機会を確保し、指導の充実に努めます。
- ・中学生等海外派遣事業では、中学生２８名、教員等３名の計３１名を姉妹都市オーストラリア・ソルズベリー市に派遣します。

(1) いじめ・暴力行為等の問題への取り組みの徹底

「茂原市いじめ対応マニュアル」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見に努めるとともに、その取り組みを点検し、必要に応じて見直しを行うことで、子どもたち一人一人が安心して過ごせる学校づくりを推進し、いじめの根絶を目指します。

【令和元年度の取り組み】

- ・ いじめに対応する校内委員会を活用し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を組織的・計画的に進めます。
- ・ 関係機関との連携を図り、協力していじめへの対応を図ります。

(2) 道徳教育の推進

新たに特別の教科として位置づけられる「道徳」に対応するため、教員の指導力向上のための研修の充実、DVD等の映像教材の整備を図り、あいさつをはじめとする礼儀や規律を重んじ、人格や生命を尊重する態度を育みます。

【令和元年度の取り組み】

- ・ 若年層教員を中心に、道徳の指導法に関する実践的な研修を位置づけ、「考え、議論する道徳」を意識した指導方法の工夫・改善に努めます。
- ・ 教育活動全体を通じて、豊かな人間関係づくりのためのコミュニケーション能力の育成に努めます。

(3) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

学校支援ボランティアの活動を促進し、学校における学習活動や環境整備、学校内外の安全確保等において、保護者や地域住民の参加を積極的に進め、学校・家庭・地域が一体となった子どもの教育を推進します。

【令和元年度の取り組み】

- ・ 夏休み子ども教室、地域未来塾を開催し、地域ボランティアの積極的な活用により地域の教育力の充実を図ります。
- ・ 各学校に登録しているボランティアの協力を仰ぎ、交通安全対策や体験学習の充実を図ります。

(4) 青少年の健全育成と家庭教育の充実

青少年指導センターを中心に学校や警察、関係機関と連携し、巡回・補導・相談活動の充実を図り青少年の非行防止活動を推進します。また、青少年に有害な環境の浄化活動に努めます。

子どもたちの社会性や自立性を育む様々な活動を支援するとともに、子どもの人格形成の基礎づくりを担う家庭の教育機能向上を図ります。

【令和元年度の取り組み】

- ・青少年育成茂原市民会議、青少年相談員、子ども会等の活動を支援し、青少年の健全育成体制の充実に努めます。
- ・子ども会、子どもセンター等の活動を通して、青少年の奉仕活動・体験活動の推進に努めます。
- ・就学前、3歳、幼稚園・小学校の各児童を持つ親を対象に学習機会を提供し、家庭教育の充実に努めます。
- ・青少年が集まりやすい場所の巡回を強化し、関係機関と情報を共有しながら非行の防止や早期発見に努めます。
- ・しおりや広報紙の配布を通して、相談しやすい窓口となるように啓発活動に努めます。
- ・インターネット上に潜む危険性の理解と有害情報から身を守る方法の普及を図るとともにネットパトロールを実施し、SNS上のトラブル防止に努めます。

（５）セーフティネットの構築

子どもの生命・身体の安全が損なわれるような事案が発生しないよう、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めるため、スクールカウンセラー・心の教室相談員等の配置に努めます。

【令和元年度の取り組み】

- ・心の教室相談員による相談活動の充実に努めるとともに、小学校におけるスクールカウンセラー配置校の拡充のために関係機関との協議を進めます。
- ・校内の相談窓口の周知や意見箱の活用、定期的なアンケート調査や教育相談により、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めます。
- ・発達の段階に即した児童生徒理解と教育相談を行い、問題行動や不登校に対し、組織的な対応ができる生徒指導体制づくりに努めます。

基本方針 3

芸術・文化・スポーツの振興

（１）芸術文化の創造と個性の伸長

美術館の優れた美術品の展示、企画展、また市民、小中高校生の発表の機会としての展示を行い、親しみのある美術館・郷土資料館づくりと鑑賞する機会の提供に努めます。文化協会の組織充実に努めるとともに、市民の文化活動の意欲向上と発表の場を確保するため、文化祭等を開催し、身近で親しみやすく、かつ優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供します。

【令和元年度の取り組み】

- ・茂原市文化協会の活動を広く周知するための広報活動を強化するなど組織の充実に努めます。また、多くの市民が参加できるよう実行委員会主体による文化祭を開催します。
- ・歌舞伎、能・狂言、ミュージカルなどの鑑賞会や小中学生の音楽鑑賞教室を開催し、

芸術文化に触れる機会を提供します。

- ・文化庁主催の「優秀映画鑑賞推進事業」をはじめとした内外の上質な映画の上映会を開催し、地域における文化活動の活性化を図ります。
- ・公民館まつり、文化会館まつりを開催し、日頃の文化活動の発表の場を確保するとともに、市民に文化活動の情報を提供します。
- ・美術館では、美術企画展のほか、行財政改革大綱第7次実施計画に係る「市内小中学校所蔵の美術品展」の開催をはじめとした優れた美術品を展示する年8回の収蔵品展等の開催と、市民美術展、小中学校作品展等の年17団体の展覧会の開催により、鑑賞と発表の機会を提供します。

（２）いつでも・どこでも・だれでも学べる場の提供

市民カレッジ等の各種講座の開催について、幅広い分野からの講師の選択に努め、現代の新しい情報をより身近に取り入れることのできる機会を提供します。

【令和元年度の取り組み】

- ・「城西国際大学公開講座」、「市民カレッジ」等の開催により、地域にいながらにして学習意欲を満たす多様な知識を得られる機会の提供に努めます。
- ・市民の要望に応じて、地域社会の一員として生活するために必要な知識や情報を提供する「職員出前講座」の普及を図ります。
- ・多様なニーズにあった主催教室を開催し、市民の学習意欲に応え、教養及び健康福祉の向上を図ります。
- ・美術館・郷土資料館では、美術実技講座、小学生講座、歴史セミナー、古文書講座等を随時開催し、作品を創り上げる機会や歴史を学ぶ機会の提供に努めます。また、親しみのある美術館・郷土資料館づくりとして、茂原公園を活用したこども向けのイベント等を開催します。

（３）変化の激しい時代を生き抜く生涯を通した学習支援

市民の学習ニーズは一段と多様化し、主体的な学習意欲が高まっている中で、今後の社会の要請に応え、各世代が生きがいを持って学ぶことのできる学習機会の拡充を図ります。

【令和元年度の取り組み】

- ・第2次茂原市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習推進協議会を活用し全庁的な推進体制の充実を図ります。
- ・国・各自治体の施設や関連機関等と連携を図り、市民の多様化するニーズに対応できるよう協力体制を整備します。
- ・生涯学習情報紙「ハロータウン」、生涯学習ガイドブック等により生涯学習に関する情報提供に努めます。
- ・生涯学習を担う指導者の確保と周知に努めます。

(4) スポーツ環境の充実

市民スポーツの活動拠点となる市民体育館等が、いつでも安全に利用することができる充実した施設となるよう施設整備を図るとともに、良好な環境の維持に努めます。

【令和元年度の取り組み】

- ・市民体育館メインアリーナ・サブアリーナ・柔道場の天井の耐震改修工事のほか、照明LED化や屋上防水、トイレ改修等の大規模改修に向けて設計業務委託を引き続き実施します。
- ・教育活動に支障の無い範囲で学校施設を地域に開放し、スポーツ・レクリエーションの普及を図ります。
- ・東部台文化会館体育センターの天井照明をLED化し、スポーツ環境の改善を図ります。

(5) スポーツ・レクリエーションの普及

スポーツ・レクリエーションを通して市民の健康づくり、体力づくりを推進するとともに、スポーツを活用した地域づくりを推進するため、総合型地域スポーツクラブの設立を支援します。

【令和元年度の取り組み】

- ・「市民ひとり1スポーツ」を目標とし、市民の健康づくり、体力づくりを推進するため、本市発祥のスポーツ「タッチバレーボール」及び「ラジオ体操」の普及に努めます。
- ・総合型地域スポーツクラブについては、昨年度設立された既存クラブの活動支援を引き続き行います。更に小学校区毎の地域型クラブ及び市民体育館を拠点とする中央型クラブの設立を支援します。

基本方針 4

茂原を愛する心の育成

(1) 地域を担う人材の育成

ふるさと茂原について学ぶ「茂原学」を教科等の年間指導計画に位置づけるとともに、地域にある事業所や公共施設における職場見学・職業体験の充実を図り、地域で働く人々と触れ合う体験を通して郷土を愛する心を育成します。また、社会教育・芸術文化関係団体の活動を支援し、指導者の発掘、育成に努めます。

【令和元年度の取り組み】

- ・児童生徒の発達段階に応じて、茂原市の歴史・伝統文化・産業・自然環境等の内容を社会科を中心とした学習に位置づけます。
- ・小学校6年で職場見学、中学校2年で職場体験を実施します。
- ・子ども会等の社会教育関係団体の活動支援に努め、各団体を育成するとともに、指導者講習会を開催し、指導者の発掘、育成を図ります。
- ・経済的理由により修学の困難な方に対して、必要な奨学資金を貸付することで有為な人材の育成に努めます。

（２）安全・安心な教育環境の確保

公立学校施設は、児童生徒などが一日の大半を過ごす活動の場であることから、老朽化の進んでいる学校施設の整備・修繕等を計画的に行い、施設の安全性の確保を図るとともに、教育施設、建築設備の安全点検を定期的に行い、適正な管理に務めます。また、児童生徒の通学路の安全確保を図ります。

【令和元年度の取り組み】

- ・ 学校施設の整備・修繕等を行い施設の安全性の確保を図ります。
- ・ 富士見中学校の大規模改造工事に着手し、安全性の確保及び学習環境の改善を図ります。
- ・ 市内小中学校及び幼稚園に空調設備を設置し、児童生徒の健康保持、学習環境の改善を図ります。
- ・ 関係機関と協力し、通学路の安全確保を図ります。
- ・ 安全・安心で温かく美味しい給食を提供するため茂原市学校給食センターをPFI方式により整備します。
- ・ 社会教育・文化施設の適切な整備・維持管理に努めるとともに、設備等の充実を図ります。

（３）文化財・伝統文化の維持、保存、活用の推進

文化財の保護・保存を図るとともに、美術館・郷土資料館に展示し、文化財に対する理解を深め、郷土愛の育成に努めます。また、伝統芸能保存団体の発表の場を提供し、伝統文化への理解と愛着を深めます。市制施行70周年の市史発刊を目指します。

【令和元年度の取り組み】

- ・ 市内に現存する貴重な文化財を指定文化財として指定し、保護保存していきます。
- ・ 郷土芸能発表会を開催し、多くの市民に伝統芸能保存団体の活動の周知を図ります。
- ・ 郷土資料館の常設展示の充実に努めるほか、年2回のテーマ展等を開催し、郷土愛の育成に努めます。
- ・ 市史編さん委員会を開催するとともに、編さん委員等の調査を基に市史調査報告書を発行し、昨年度策定した基本方針や刊行計画に沿って、市史「資料編」「通史編」の刊行に向けてより具体的に進めてまいります。

（４）学校・家庭・地域連携によるコミュニティの形成

豊かな人間関係を育む地域コミュニティをつくるため、学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実を図るとともに、課題解決に向けて協働できる仕組みづくりをより一層進めます。

【令和元年度の取り組み】

- ・ 学校・家庭・地域が連携し、授業や学校行事への協力、地域行事への児童生徒の積極的な参加を通して、地域ぐるみで児童生徒を育てるよう努めます。

4 各施策の点検評価報告書

各施策の取組状況については、次のとおりです。

(各施策の取組状況の内容)

順 調 : 計画どおりに取り組み、成果があがっている

概ね順調 : 十分ではないが、成果があがっている

不 十 分 : 取り組みが不十分である

基本方針	施策の柱	取組状況
1 社会を生き抜く力の育成	(1) 学力の向上	概ね順調
	(2) 幼児教育・保育の充実	概ね順調
	(3) 読書活動の推進	概ね順調
	(4) 国際理解教育の推進	概ね順調
2 心を育む人間教育の推進	(1) いじめ・暴力行為等の問題への取り組みの徹底	概ね順調
	(2) 道徳教育の推進	順調
	(3) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進	概ね順調
	(4) 青少年の健全育成と家庭教育の充実	概ね順調
	(5) セーフティネットの構築	概ね順調
3 芸術・文化・スポーツの振興	(1) 芸術文化の創造と個性の伸長	概ね順調
	(2) いつでも・どこでも・だれでも学べる場の提供	概ね順調
	(3) 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学習支援	概ね順調
	(4) スポーツ環境の充実	概ね順調
	(5) スポーツ・レクリエーションの普及	順調
4 茂原を愛する心の育成	(1) 地域を担う人材の育成	概ね順調
	(2) 安全・安心な教育環境の確保	概ね順調
	(3) 文化財・伝統文化の維持、保存、活用の推進	概ね順調
	(4) 学校・家庭・地域連携によるコミュニティの形成	概ね順調

1－（１）学力の向上

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針１ 社会を生き抜く力の育成	担 当 課	教育総務課 学校教育課
施策区分	（１）学力の向上	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・ 特色ある学校経営と次期学習指導要領の実施及び移行期間を見据えたカリキュラム・マネジメントの促進に努めるとともに、主体的・対話的で深い学びや思考力・判断力・表現力等の育成の視点からの授業改善と多様な体験活動を推進する。 ・ 校長、教頭、教務主任、若年層教員の研修会や、茂原市教育研究協議会の研修において、自己の課題意識に基づいた自主的な研修を進め、教員の資質向上を図る。 ・ 「全国学力・学習状況調査」の結果を基にした指導方法の改善をもとに、個に応じた指導を取り入れ、児童生徒の学力の向上を図る。 ・ インクルーシブ教育システムの構築を目指し、多様な教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供に努め、特別支援教育の充実に努める。 ・ 「茂原市立中学校に係る部活動の方針（部活動ガイドライン）」に則り、各中学校は「学校の部活動に係る方針」を策定し、スポーツや文化等を通して、生徒が健全な心と身体を培い豊かな人間性を育むために、バランスの取れた活動に努める。 ・ 全ての学習の基盤となる「情報活用能力」の育成に取り組めるよう、特に小学校プログラミング教育を推進する。 ・ 子どもたちにとって、より良い教育環境の確保を第一に考え、今後も「茂原市学校再編第一次実施計画」に基づき、学校再編を推進する。 ・ 本市における特色ある教育を推進するため、小中一貫教育の調査研究に努める。
現状と課題	・ 各学校では、全国学力・学習状況調査や千葉県標準学力テストの結果分析を活用した研修会を行い、授業改善に取り組んでいる。 ・ 各種研修会の内容の充実にさらに図っていく必要がある。 ・ 学校再編については、保護者及び地域住民の理解を得て推進していく必要がある。 ・ 小中一貫教育については、基本方針等の構想について作成していく必要がある。
求める成果	問題解決的な学習を推進するとともに、学習支援員の配置、学校図書館の活用を通して、基礎・基本の定着と学んだことを活用し考え表現する力、自主的に学習する態度を育む。また、教員の経験年数に応じた参加型の研修を充実させることにより、教員の資質向上を図る。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
主な取組	教育研究協議会の開催	各部研修会：年3回、教育講演会：年1回
	教務主任研修会の開催	年3回実施
	若年層教員育成研修会の開催	年3回実施
	学力向上委員会の開催	年3回実施
	特別支援教育研修会の開催	年2回実施
	学校再編第一次実施計画説明会の実施	5月19日(新治小) 11月16日(豊岡小・本納小) 11月24日(新治小)
	二宮小・緑ヶ丘小統合準備委員会の開催	年4回実施
	小中一貫教育構想委員会の開催	年5回実施
取組の評価	・若年層教員育成研修では、経験7年目までの教員を対象に、「考え、議論する道徳」の実践や評価方法、特別支援教育や学習指導についての研修を実施した。 ・教務主任研修会、学力向上委員会において全国学力・学習状況調査の分析、結果の活用について検討し、小・中学校にはたらきかけた。 ・多様な教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実のために、研修会を実施した。 ・学校再編については、本納地区等で説明会を実施した。 ・目指す子ども像をはじめ、小中一貫教育を進めるうえで必要な事項を定めることができた。	
今後の方向性	・学力の向上を目指し、各学校の成果や課題を把握し、授業改善に生かしていく。 ・令和3年度からの「茂原市学校再編第二次実施計画」を策定し、更に学校再編を推進する。 ・小中一貫の構想を市内教職員へ周知し、意識づけを図る。	

1－（２）幼児教育・保育の充実

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針 1 社会を生き抜く力の育成	担 当 課	学校教育課
施策区分	（２）幼児教育・保育の充実	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・ 基礎的な能力の育成を重視した教育課程を編成し、豊かな人間性を培う教育の推進に努める。 ・ 小学校への円滑な接続を図るための、幼小連携の体制づくりを推進する。 ・ 幼保一元化を見据え、幼稚園及び保育所の連携の推進に努める。 ・ 「公立保育所・幼稚園整備計画」により、民間事業者による認定子ども園設立を目指す。
現状と課題	・ 小学校と幼稚園・保育所との交流を図るなど、連携に努める。 ・ 幼稚園の適正化については、「公立保育所・幼稚園整備計画」により、取り組みを進める。
求める成果	小学校に入学して集団行動ができない等の小１プロブレムを解消するため、基礎的な能力の育成を重視した教育課程を編成し、豊かな人間性を培う教育を推進するとともに、幼小連携を図る指導計画を作成し、幼児期から小学校生活に子どもがなじめるよう、就学前の教育・保育の充実を図る。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
主な取組	豊かな人間性を養う教育	1 クラス 2 名の教員を配置
	幼小の連携	・ 小学校教諭との意見交換を実施 ・ 園児と小学生の交流（年 1 回）
	幼保一元化	幼保連絡協議会の開催 視察研修（年 1 回）、講演会（年 1 回） 小学校教諭との意見交換（年 1 回）
	認定こども園の設立	「公立保育所・幼稚園整備計画」に基づき、ほのおか認定こども園開園に向けた準備及び豊岡幼稚園閉園に向けた準備
取組の評価	・ 小学校と幼稚園、保育所の連携を推進することにより、小１プロブレム等の不適用への対応が図られている。 ・ 幼保一元化への検討や認定こども園の整備に向けて、今後の幼稚園・保育所の統廃合への取り組みが進められている。	
今後の方向性	・ 豊かな人間性を培うため、さらに幼児教育の充実を図る。 ・ 小学校との連携をさらに図る。 ・ 幼保一元化の検討を進め、幼稚園の適正化についてもさらに取り組んでいく。	

1－（３）読書活動の推進

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針１ 社会を生き抜く力の育成	担 当 課	学校教育課 生涯学習課
施策区分	（３）読書活動の推進	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・本に親しむ意欲と態度を育成する読書活動の充実に努める。 ・学校司書の配置を段階的に進め、図書館と連携を図りながら、読書環境づくりに努める。 ・「茂原市立学校図書館・茂原市立図書館連絡会議」を継続して開催し、学校図書館の充実に努めるため、司書教諭や学校司書等の資質の向上に努める。 ・「茂原市子ども読書活動推進会議」を継続して開催し、第三次計画の進捗状況を点検するとともに、未達成な施策等に対策を講じる。 ・学校図書館ボランティアを対象に、読み聞かせ等の講習会や情報交換会を開催し、読書環境の整備体制を充実させる。
現状と課題	茂原市子ども読書活動推進会議については、令和２年度が第三次計画の最終年度のため５年間の総括的な検証と第四次計画策定に繋がる指標を提案する。
求める成果	「第三次茂原市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の総合的・継続的な推進を図るため、学校と図書館との情報交換等の場を設け、各学校の実態に合わせた読書環境づくりの改善に向けて、相互に協力する体制を整備する。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内 容	活動指標
主な取組	茂原市子ども読書活動推進会議の開催	年１回開催 委員５名出席
	学校司書の配置と研修会等の実施	昨年度に続き学校司書４名を６小学校に配置し、年５回の情報交換会とブックトークの研修会を実施。
	学校図書館の整備	２小学校の図書の背ラベル貼替えと配架修正（豊岡小、二宮小）
	学校図書館・市立図書館連絡会議での読書指導研修会の開催	講演会開催 講師/小畑信夫氏（図書館メディア研究所代表）
	学校支援ボランティア研修会の開催	・読みきかせ/入門・スキルアップコース各１回開催 ・図書の分類・配架と修理/１回開催
取組の評価	・３年目を迎えた学校司書の配置とデータベース化により、貸出冊数も増え、学校図書館を活用した授業が活発に行われた。 ・全小学校において、学校司書を配置するために必要な学校図書館の整備が図られた。 ・ボランティアの協力により図書の読み聞かせだけでなく、図書の修理等も増えた。	
今後の方向性	・学校司書を全小学校に配置し、学校図書館の環境整備と学校図書館を活用した授業の推進を図る。 ・学校司書の配置日数が不足しているため、ボランティアの確保と育成により子どもの読書活動や学校図書館の環境整備の支援に資する。	

1－（４）国際理解教育の推進

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針１ 社会を生き抜く力の育成	担 当 課	学校教育課
施策区分	（４）国際理解教育の推進	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・ 小学校における英語の教科化に向け、教員の指導力の向上のための研修の充実とカリキュラムの検討を進める。また、A L Tを各校に配置してネイティブの発音に触れる機会を確保し、指導の充実に努める。 ・ 中学生等海外派遣事業では、中学生 28 名、教員等 3 名の計 31 名を姉妹都市オーストラリア・ソルズベリー市に派遣する。
現状と課題	・ 外国語活動・外国語科実践研修会を各小学校や市役所において実施している。来年度からの完全実施にむけ、担任と A L T が T T で指導できる体制の充実が必要である。 ・ 中学生等海外派遣事業では、姉妹都市のソルズベリー市内にホームステイし、現地校を訪問したりホストファミリーと過ごしたりした経験を発表する機会を各学校で設けている。
求める成果	小学校における英語教科化に備えた A L T 等による語学指導の充実、姉妹都市オーストラリア・ソルズベリー市への中学生等海外派遣事業の継続、帰国児童生徒及び外国人児童生徒への適応指導の充実等を通して、子どもたちが異なる文化に触れる機会を創出し、異文化を理解できる豊かな感性を育む。

【令和元年度の取組に対する評価】

主な取組	内容	活動指標
	小学校の英語の教科化への対応	3・4年生で年間 35 時間、5・6年生で 70 時間を先行実施しており、すべての授業に A L T を配置している。
	中学生等海外派遣事業の継続	中学生 27 名をオーストラリアへ派遣
取組の評価	・ 小学校における英語の教科化や中学校におけるオールイングリッシュによる授業を目指すため、各研修会を実施し、教員の指導力向上につながった。 ・ 海外派遣については、27 名の生徒が参加し、体験したことを全校に発表したり、研修報告書を完成させたりすることができた。	
今後の方向性	・ 小学校で学習した内容が、中学校での英語科の学習につながるような小中連携を充実させる。 ・ 小中学校で教員の指導力向上の研修会を、夏季休業中に実施していく。 ・ 中学校等海外派遣事業については、実施していく。	

２－（１）いじめ・暴力行為等の問題への取り組みの徹底

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針２ 心を育む人間教育の推進	担 当 課	学校教育課
施策区分	（１）いじめ・暴力行為等の問題への取り組みの徹底	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・いじめに対応する校内委員会を活用し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を組織的・計画的に進める。 ・関係機関との連携を図り、協力していじめへの対応を図る。
現状と課題	・年間複数回の定期的アンケートの実施と、それを基にした教育相談を行い、いじめの早期発見・早期解決にあたっている。 ・ＳＮＳによる問題が多くなり、いじめが表面化しにくくなっている。 ・関係機関との連携をさらに密にしていく必要がある。
求める成果	「茂原市いじめ対応マニュアル」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見に努めるとともに、その取組みを点検し、必要に応じて見直しを行うことで、子どもたち一人一人が安心して過ごせる学校づくりを推進し、いじめの根絶を目指す。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
主な取組	定期的なアンケートの実施	各学校とも、年２回以上実施
	定期的な教育相談の実施	各学校ともアンケートの実施を受け、児童生徒との面談を年２回以上実施
	問題行動対策連絡協議会の開催	・年３回実施 ・指導センター職員、保護司、茂原市適応指導教室（フレンドルーム）指導員等も参加
取組の評価	・アンケートは年２回以上の実施が定着し、回答方法も記名式、無記名式、選択式、記述式、選択肢式等、児童生徒が回答しやすいよう工夫している。 ・アンケートを受けて実施している教育相談は、時によっては担任以外の教員を面談相手にすることも認めるなど、児童生徒が悩み等を話しやすい環境を整えるよう工夫している。 ・各校ともスクールカウンセラーや心の相談員はもとより、関係機関との連携を図るようにしている。	
今後の方向性	・「茂原市いじめ対応マニュアル」及び「学校いじめ防止基本方針」を年度当初に見直し、各学校が教職員の共通理解のもと、いじめ等の問題行動への対応を進めていく。また、「茂原市いじめ防止基本方針」の策定を進めていく。 ・個人情報という観点から、情報漏洩の防止及び電子データ及び紙媒体の保管・管理の徹底を図る。	

2－（２）道徳教育の推進

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針２ 心を育む人間教育の推進	担 当 課	学校教育課
施策区分	（２）道徳教育の推進	取組状況	順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・若年層教員を中心に、道徳の指導法に関する実践的な研修を位置づけ、「考え、議論する道徳」を意識した指導方法の工夫・改善に努める。 ・教育活動全体を通じて、豊かな人間関係づくりのためのコミュニケーション能力の育成に努める。
現状と課題	教科書を使った「考え、議論する道徳」の実践に向けた教員のスキルアップと評価方法の理解が課題である。
求める成果	新たに特別の教科として位置づけられる「道徳」に対応するため、教員の指導力向上のための研修の充実、DVD等の映像教材の整備を図り、あいさつをはじめとする礼儀や規律を重んじ、人格や生命を尊重する態度を育む。

【令和元年度の取組に対する評価】

主な取組	内容	活動指標
	教育活動全体をとおして行う道徳教育	各教科、領域の年間指導計画に道徳教育との関連を明記
	若年層教員育成研修会	年１回実施
	映像教材の整備・充実	千葉県教育委員会が作成した映像教材や視聴覚教材センター所有の道徳教材の活用
取組の評価	・若年層教員育成研修会において、「考え、議論する道徳」の指導方法や評価について学んだ。 ・千葉県教育委員会が作成した映像教材や視聴覚教材センター所蔵の道徳教材を活用し、道徳教育の充実を図った。 ・各教科の指導において、道徳科で学んだ学習を活かす場面を意識し、指導する機会が増えた。	
今後の方向性	・道徳科の実践に伴い、教科書教材の活用や指導方法、評価の工夫等について、更に研修を重ね、指導力向上に取り組んでいく。	

２－（３）学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針２ 心を育む人間教育の推進	担 当 課	学校教育課 生涯学習課
施策区分	（３）学校・家庭・地域が一体となった教育の推進	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・夏休み子ども教室、地域未来塾を開催し、地域ボランティアの積極的な活用により地域の教育力の充実を図る。 ・各学校に登録しているボランティアの協力を仰ぎ、交通安全対策や体験学習の充実を図る。
現状と課題	夏休み子ども教室については実施校の拡大を図り地域ボランティアの活動の場を拡充する必要があるが、開催時期の重複が生じるため、地域ボランティア主体による運営体制へ移行する必要がある。 地域未来塾については参加生徒が少数である為、参加者の増加を図るとともに、中学３年生の数学を教えることができる講師の確保が必要である。
求める成果	学校支援ボランティアの活動を促進し、学校における学習活動や環境整備、学校内外の安全確保等において、保護者や地域住民の参加を積極的に進め、学校・家庭・地域が一体となった子どもの教育を推進する。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
主な取組	夏休み子ども教室の開催	開催校：６小学校 豊田小、緑ヶ丘小、中の島小、鶴枝小、本納小、茂原小 開催日：６校計 18 日間 参加児童：245 名 参加コーディネーター：12 名 参加ボランティア：145 名
	地域未来塾の開催	開催校：３中学校 南中、東中、富士見中 開催日数：３校計 74 日 参加生徒：計 7 名 （南中 3 名、東中 1 名、富士見中 3 名） 講師 計：6 名
	学校支援ボランティアの推進	幼・小・中あわせて 421 人登録 （交通指導・読み聞かせ・樹木の剪定等）
	学校支援ボランティアの登録状況の把握	最新の情報になるように定期的に確認
取組の評価	・夏休み子ども教室、地域未来塾において地域のボランティアの協力を得て地域教育力の充実に寄与した。 ・学校支援ボランティアについては、交通安全指導や見守り、本の読み聞かせや学校図書室の蔵書整理等に大きな効果があつた。	
今後の方向性	・夏休み子ども教室については、開催校の拡大を図るとともに、通年型放課後子ども教室や学童クラブとの一体化について検討する。 ・地域未来塾についても対象校を全 6 中学校に拡大し、参加生徒の増加を図る。 ・ボランティアに対する学校のニーズと登録者の活用について調整すると共に、学校支援ボランティア制度について幼・小・中学校に再度周知し、登録者の有効活用や活動の活性化を図る。	

２－（４）青少年の健全育成と家庭教育の充実

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針２ 心を育む人間教育の推進	担 当 課	生涯学習課 青少年指導センター
施策区分	（４）青少年の健全育成と家庭教育の充実	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・青少年育成茂原市民会議、青少年相談員、子ども会等の活動を支援し、青少年の健全育成体制の充実に努める。 ・子ども会、子どもセンター等の活動を通して、青少年の奉仕活動・体験活動の推進に努める。 ・就学前、３歳、幼稚園・小学校の各児童を持つ親を対象に学習機会を提供し、家庭教育の充実に努める。 ・青少年が集まりやすい場所の巡回を強化し、関係機関と情報を共有しながら非行の防止や早期発見に努める。 ・しおりや広報紙の配布を通して、相談しやすい窓口となるように啓発活動に努める。 ・インターネット上に潜む危険性の理解と有害情報から身を守る方法の普及を図るとともにネットパトロールを実施し、ＳＮＳ上のトラブル防止に努める。
現状と課題	青少年育成茂原市民会議、青少年相談員、青少年指導センターを中心に青少年の健全育成を図っている。少子化、核家族化、情報の氾濫等、青少年を取り巻く環境の変化に対応した取り組みを進める必要がある。
求める成果	青少年指導センターを中心に学校や警察、関係機関と連携し、巡回・補導・相談活動の充実を図り青少年の非行防止活動を推進します。また、青少年に有害な環境の浄化活動に努める。 子どもたちの社会性や自立性を育む様々な活動を支援するとともに、子ども的人格形成の基礎づくりを担う家庭の教育機能向上を図る。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
主な取組	各種大会の開催	少年の主張大会：199 人参加 僕と私のジャンピング大会：大雨の影響で中止 ふぁみりーグラウンドゴルフ大会：雨天中止 つつじマラソン大会：大雨の影響で中止
	奉仕活動・体験活動の推進	わくわくキャンプ研修：53 人参加 親子で登山：台風の影響で中止
	子育て講座・家庭教育学級の開催	子育て講座 14 回 609 人参加 家庭教育学級 52 回 1,813 人参加
	街頭補導	実施回数 525 回〈少年補導状況 408 人、補導活動参加者（センター職員・青少年補導員・青少年相談員）1,151 人〉
	相談	149 件（うち不審者 44 件）
取組の評価	・災害等により多くの行事が中止となったものの、各種行事や補導活動等を通じて青少年育成が図られた。また、家庭教育も多くの参加を得、推進できた。	
今後の方向性	・引き続き、青少年健全育成の体制及び事業の充実を図るとともに、環境浄化と非行防止を社会環境に即した形で進める。	

２－（５）セーフティネットの構築

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針２ 心を育む人間教育の推進	担 当 課	学校教育課
施策区分	（５）セーフティネットの構築	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	- 心の教室相談員による相談活動の充実を図るとともに、小学校におけるスクールカウンセラー配置校の拡充のために関係機関との協議を進める。 - 校内の相談窓口の周知や意見箱の活用、定期的なアンケート調査や教育相談により、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。 - 発達の段階に即した児童生徒理解と教育相談を行い、問題行動や不登校に対し、組織的な対応ができる生徒指導体制づくりに努める。
現状と課題	- 小学校におけるスクールカウンセラー配置は４校、心の教育相談員の配置も４校となっている。 - 定期的なアンケート調査や教育相談は各学校で取り組まれており、アセス（学校環境適応感尺度）等を使って学級や個人の対人関係等も分析し、いじめの早期発見につながっている。 - アンケート調査がいじめ認知のきっかけとして一番多いことから、実施方法の改善が必要であることと、家庭・地域・関係機関との連携によるいじめの未然防止の取り組みが必要である。
求める成果	子どもの生命・身体の安全が損なわれるような事案が発生しないよう、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めるため、スクールカウンセラー・心の教室相談員等の配置に努める。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
主な取組	スクールカウンセラー配置校の拡充	中学校：全校配置 小学校：４校配置
	各学校での教育相談の充実	アンケート調査の回数 年２～３回：１５校 年４回以上：６校 ２１校で相談窓口の周知 ２１校で相談箱の設置
	心の教育相談員	小学校４校に配置
取組の評価	- スクールカウンセラーについては、昨年と同じ人数を配置できた。心の教育相談員と併せて、約６割の小学校に配置することができた。 - 教育相談については、全小・中学校で相談週間を年間計画に位置づけて実施している。相談窓口の周知については、学校だよりや児童生徒が集まる機会に行っているため、相談窓口への理解も深まり、利用しやすくなっている。	
今後の方向性	- スクールカウンセラーの配置のさらなる拡充に努める。 - アンケート調査や教育相談の方法についての情報交換を行い、各学校の取組内容の改善を図り、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努める。	

３－（１）芸術文化の創造と個性の伸長

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針３ 芸術・文化・スポーツの振興	担 当 課	生涯学習課 中央公民館 美術館・郷土資料館 東部台文化会館
施策区分	（１）芸術文化の創造と個性の伸長	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・ 茂原市文化協会の活動を広く周知するための広報活動を強化するなど組織の充実を図る。また、多くの市民が参加できるよう実行委員会主体による文化祭を開催する。 ・ 歌舞伎、能・狂言、ミュージカルなどの鑑賞会や小中学生の音楽鑑賞教室を開催し、芸術文化に触れる機会を提供する。 ・ 文化庁主催の「優秀映画鑑賞推進事業」をはじめとした内外の上質な映画の上映会を開催し、地域における文化活動の活性化を図る。 ・ 公民館まつり、文化会館まつりを開催し、日頃の文化活動の発表の場を確保するとともに、市民に文化活動の情報を提供する。 ・ 美術館では、美術企画展のほか、行財政改革大綱第７次実施計画に係る「市内小中学校所蔵の美術品展」の開催をはじめとした優れた美術品を展示する年８回の収蔵品展等の開催と、市民美術展、小中学校作品展等の年１７団体の展覧会の開催により、鑑賞と発表の機会を提供する。
現状と課題	・ 文化協会は年１回会報を発行し加盟団体の紹介をしているが、会員の増加にはつながっていない。 ・ 文化祭は高齢化により、参加者数の減少や終了する行事もみられる。 ・ 市民を対象とした歌舞伎等の芸術鑑賞会、小中学生を対象とした音楽鑑賞教室を開催している。今後も市民ニーズに対応した企画や活動補助の充実が求められる。 ・ 平成２８年度より有料映画会の文化庁推薦「優秀映画鑑賞推進事業」を市民協働で実施。平成２６年度より実施の無料映画会では、上映作品の選定が課題である。 ・ 自主グループ構成員の高齢化等により、公民館まつりへの参加団体が年々減少しているので、運営方法等について検討が必要である。
求める成果	美術館の優れた美術品の展示、企画展、また市民、小中高校生の発表の機会としての展示を行い、親しみのある美術館・郷土資料館づくりと鑑賞する機会の提供に努める。文化協会の組織充実を図るとともに、市民の文化活動の意欲向上と発表の場を確保するため、文化祭等を開催し、身近で親しみやすく、かつ優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供する。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
主な取組	茂原市文化祭の開催	令和元年 10 月 25 日の豪雨災害により中止 予算 452 千円
	茂原市文化協会の組織充実	会報の発行、予算 549 千円
	小中学校音楽鑑賞教室	小中学校 6 校で開催、予算 630 千円
	芸術文化鑑賞会	歌舞伎・能狂言・ミュージカル計 5 回
	映画会の実施	大画面で見る映画会（2 日間） 389 人参加 優秀映画鑑賞推進事業（2 日間）583 人参加
	東部台文化会館まつりの実施	2 日間 1,726 人参加
	「茂原市内の小中学校所蔵美術品展」の開催	6/22～9/8 4,794 人
	美術企画展「速水御舟、吉田善彦の系譜と郷土の日本画家 林 功 展」の開催	9/13～10/7 749 人
	美術収蔵品展の開催	7 回開催 26,361 人
	美術館各共催団体の展示	18 団体 27,764 人
	公民館まつりの開催	令和元年 10 月 25 日の豪雨災害により中止
取組の評価	・文化祭は、令和元年 10 月 25 日の豪雨災害により中止する。 ・文化協会は、年 1 回会報を発行し加盟団体の周知を図った。 ・小中学校音楽鑑賞教室は、各校独自の企画で開催し児童生徒から好評を得た。 ・芸術文化鑑賞会は、全 5 回開催し参加者から好評を得た。 ・映画会は、芸術鑑賞の機会として定着してきている。 ・会館まつりは、活動団体の日頃の成果が発揮された場となった。 ・各展覧会の開催にあたり、作者や関係者からの作品寄贈や借用、展示協力、及び学芸員による解説会等、内容を充実して開催し、来館者から好評を得た。 ・公民館まつりは、令和元年 10 月 25 日の豪雨災害により中止する。	
今後の方向性	・文化祭は、茂原市文化協会と連携し参加者及び来場者の増加に努める。 ・文化協会は、引続き積極的な広報活動を行い加盟団体を周知し、会員を増やすことで組織の充実を図る ・小中学校音楽鑑賞教室は、学校の意見を聞きながら事業の充実を図るとともに市内演奏家の活用に努める。 ・芸術文化鑑賞会は、市民ニーズに対応した企画立案に努める。 ・優秀映画鑑賞推進事業は市民と協働で継続実施し、大画面で見る映画会は上映方法を検討し、より良い作品を上映できるようにする。 ・今後も郷土ゆかりの作家にスポットを当てた魅力ある展覧会を開催して、優れた美術品を鑑賞できる機会の提供に努める。 ・会員の減少や高齢化に伴い、公民館まつりのあり方を含めた実施方法について検討していく。	

３－（２）いつでも・どこでも・だれでも学べる場の提供

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針３ 芸術・文化・スポーツの振興	担 当 課	生涯学習課 中央公民館 美術館・郷土資料館 東部台文化会館
施策区分	（２）いつでも・どこでも・だれでも学べる場の提供	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・「城西国際大学公開講座」、「市民カレッジ」等の開催により、地域にいながらにして学習意欲を満たす多様な知識を得られる機会の提供に努める。 ・市民の要望に応じて、地域社会の一員として生活するために必要な知識や情報を提供する「職員出前講座」の普及を図る。 ・多様なニーズにあった主催教室を開催し、市民の学習意欲に応え、教養及び健康福祉の向上を図る。 ・美術館・郷土資料館では、美術実技講座、小学生講座、歴史セミナー、古文書講座等を随時開催し、作品を創り上げる機会や歴史を学ぶ機会の提供に努める。また、親しみのある美術館・郷土資料館づくりとして、茂原公園を活用したこども向けのイベント等を開催する。
現状と課題	・市民カレッジの講座内容を幅広くするために講師を選択するに当たって情報収集する必要がある。 ・教室によって参加者数の偏りがあり、市民のニーズに合った教室の企画や講師の選定が難しい。
求める成果	・市民カレッジ等の各種講座の開催について、幅広い分野からの講師の選択に努め、現代の新しい情報をより身近に取り入れることのできる機会を提供する。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
主な取組	主催教室の開催	東部台文化会館 12 教室 1,178 人 公民館 24 教室 1,514 人
	各種講座の開催	市民カレッジ(前期)1回 (後期)3回 合計4回 86名参加
	職員出前講座の開催	出前講座 34回 948人
	芸術文化講座の開催	美術実技講座 3回 29人 歴史セミナー 2回 42人
	子ども向けイベント	ぐるっと美術館探検 6人
	収蔵資料閲覧ウェブページによる情報提供	収蔵資料約300点の画像、情報を公開中
取組の評価	・市民カレッジは水害及び新型コロナウイルスの関係で中止した講座もあったが、新たな講師としてテレビ局職員を迎え好評を得た。 ・多様な教室を開催し、市民の教養及び健康福祉の向上が図れた。	
今後の方向性	・市民のニーズに対応した企画立案を図り、学習意欲を向上させる講座や教室を継続して実施する。	

3－（３）変化の激しい時代を生き抜く生涯を通した学習支援

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針 3 芸術・文化・スポーツの振興	担 当 課	生涯学習課
施策区分	（３）変化の激しい時代を生き抜く生涯を通した学習支援	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・第2次茂原市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習推進協議会を活用し全庁的な推進体制の充実を図る。 ・国・各自治体の施設や関連機関等と連携を図り、市民の多様化するニーズに対応できるよう協力体制を整備する。 ・生涯学習情報紙「ハロータウン」、生涯学習ガイドブック等により生涯学習に関する情報提供に努める。 ・生涯学習を担う指導者の確保と周知に努める。
現状と課題	・生涯学習推進に向けた各種取り組みについて、生涯学習推進協議会にて検証し改善を進めるとともに、生涯学習についての情報提供をより効果的にを行う必要がある。
求める成果	市民の学習ニーズは一段と多様化し、主体的な学習意欲が高まっている中で、今後の社会の要請に応え、各世代が生きがいを持って学ぶことのできる学習機会の拡充を図る。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内 容	活動指標
主な取組	生涯学習推進協議会の開催	令和元年度については新型コロナウイルス感染症対策のため書面会議を実施。（1回委員9名）
	生涯学習推進事業実績報告書の作成	担当課毎及び施策内容毎に作成
	ハロータウンの発行	年3回（広報7月、10月、1月）
	生涯学習ガイドブック	年1回（各公共施設に配布）
取組の評価	・生涯学習推進事業実績報告書を生涯学習推進協議会委員に配布し、推進状況の検討及び意見聴取を行うことで検証を行った。 ・ハロータウン、生涯学習ガイドブック等により生涯学習に関する情報提供に努めた。	
今後の方向性	・令和2年度で第2次生涯学習推進計画の計画期間が終了するため、第3次計画の策定について、他市町村等の状況を調査し今後の方向性を検討する。	

３－（４）スポーツ環境の充実

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針 ３ 芸術・文化・スポーツの振興	担 当 課	体育課 生涯学習課 東部台文化会館
施策区分	（４）スポーツ環境の充実	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・市民体育館メインアリーナ・サブアリーナ・柔道場の天井の耐震改修工事のほか、照明ＬＥＤ化や屋上防水、トイレ改修等の大規模改修に向けて設計業務委託を引き続き実施する。 ・教育活動に支障の無い範囲で学校施設を地域に開放し、スポーツ・レクリエーションの普及を図る。 ・東部台文化会館体育センターの天井照明をＬＥＤ化し、スポーツ環境の改善を図る。
現状と課題	・大規模改修工事に向け工事個所の選定及び優先順位を設定し、設計業務委託の実施が必要である。
求める成果	市民スポーツの活動拠点となる市民体育館等が、いつでも安全に利用することができる充実した施設となるよう施設整備を図るとともに、良好な環境の維持に努める。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内 容	活動指標
主な取組	市民体育館大規模改修工事 設計業務委託	契約額 34,560 千円
	市民体育館消防用設備消火 栓ポンプ交換工事	契約額 3,850 千円
	市民体育館非常用発電装置 交換工事	契約額 19,250 千円
	茂原市市民体育館改修工事	契約額 753,500 千円
	茂原市市民体育館改修工事 管理業務委託	契約額 16,346 千円
	小学校施設の開放	・利用状況（小学校） 体育館 2,285 回 グラウンド 494 回 延べ利用者数 47,134 人
	中学校施設の開放	・利用状況（中学校） 体育館 1,262 回 グラウンド 49 回 延べ利用者数 16,539 人
	東部台文化会館体育センタ ー天井照明器具改修工事	契約額 3,130 千円
取組の評価	・市民体育館設備の破損箇所修繕工事及び改修工事契約を執行し、大規模改修工事着工に向け準備を整えた。 ・学校施設は各種団体の活動の場として広く利用され、スポーツ環境の充実に寄与した。	
今後の方向性	・大規模改修工事後、利用者の安全と利便性をより高めることができるよう、施工業者との相談、報告を密に行うよう努める。 ・今後も学校施設の開放を適切に行っていく。	

３－（５）スポーツ・レクリエーションの普及

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針３ 芸術・文化・スポーツの振興	担 当 課	体育課
施策区分	（５）スポーツ・レクリエーションの普及	取組状況	順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・「市民ひとり１スポーツ」を目標とし、市民の健康づくり、体力づくりを推進するため、本市発祥のスポーツ「タッチバレーボール」及び「ラジオ体操」の普及に努める。 ・総合型地域スポーツクラブについては、昨年度設立された既存クラブの活動支援を引き続き行う。更に小学校区毎の地域型クラブ及び市民体育館を拠点とする中央型クラブの設立を支援する。
現状と課題	・小学校体育館等の身近な場所でタッチバレーボール教室を実施している周知不足が懸念されるため、より一層の情報発信を行い、参加者を募集する。 ・既存の総合型地域スポーツクラブ「緑ヶ丘スポーツクラブ」は順調に活動しているが、今年度末に活動拠点の西陵中学校閉校に伴って、クラブ側に新たな実働事務が生じるため、運営支援が必要となる。
求める成果	スポーツ・レクリエーションを通して市民の健康づくり、体力づくりを推進するとともに、スポーツを活用した地域づくりを推進するため、総合型地域スポーツクラブの設立を支援する。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
主な取組	みんなでラジオ体操会&ファミリースポーツまつり	353 人の参加
	もばらタッチバレーボール千葉県大会	台風 19 号の影響により中止 参考：前回実績 145 チーム 684 人の参加
	茂原市スポーツレクリエーション祭(もばらタッチバレーボール千葉県大会を代替開催)	新型コロナウイルス感染症対応により中止 参考：前回実績 491 人の参加
	もばらスポーツフェスティバル	元五輪選手等を講師としたバレーボール教室に約 300 人の参加
	地域スポーツ活動の実施	市内 5 つの小学校の体育館を使用したスポーツ教室(タッチバレーボール)を実施 5 会場延べ 40 回実施 約 300 人の参加
取組の評価	・小学校体育館でタッチバレーボール教室を実施し、身近な場所で気軽に教室に参加できる事ことで、より一層の普及が図られた ・既存の総合型地域スポーツクラブ「緑ヶ丘スポーツクラブ」は設立 2 年を経過し、いくつかの問題点も発生したが、情報交換を随時行うことで解決ができ、順調なクラブ活動を行うための支援ができた。	
今後の方向性	・「市民ひとり１スポーツ」の実現に向けて、市民がスポーツを始める機会の拡大や、スポーツに取り組む意欲の向上が図られる取り組みを引き続き実施する。 ・既存クラブの活動支援を引き続き行うとともに、新たなクラブ設立に向けて地域スポーツ活動を通じ、設立に必要な人材や活動団体を模索していく。	

4－（１）地域を担う人材の育成

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針４ 茂原を愛する心の育成	担 当 課	学校教育課 生涯学習課 教育総務課
施策区分	（１）地域を担う人材の育成	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・児童生徒の発達段階に応じて、茂原市の歴史・伝統文化・産業・自然環境等の内容を社会科を中心とした学習に位置づける。 ・小学校６年で職場見学、中学校２年で職場体験を実施する。 ・子ども会等の社会教育関係団体の活動支援に努め、各団体を育成するとともに、指導者講習会を開催し、指導者の発掘、育成を図る。 ・経済的理由により修学の困難な方に対して、必要な奨学資金を貸付することで有為な人材の育成に努める。
現状と課題	・どの小・中学校においても茂原に関する学習は行っているが、整理されていない。 ・社会教育関係団体は会員数の減少、役員不足の傾向にあり、指導者の育成を図り組織力を強化する必要がある。 ・奨学資金の貸付については、他制度の充実により、新規貸付者数が年々減少している。
求める成果	ふるさと茂原について学ぶ「茂原学」を教科等の年間指導計画に位置づけるとともに、地域にある事業所や公共施設における職場見学・職業体験の充実を図り、地域で働く人々と触れ合う体験を通して郷土を愛する心を育成する。また、社会教育・芸術文化関係団体の活動を支援し、指導者の発掘、育成に努める。

【令和元年度の取組に対する評価】

主な取組	内容	活動指標
	茂原学の開催	7回：418人参加（小学校３校・中学校なし）
	社会教育関係団体への助成	3団体：655千円
	奨学資金の貸付	新規貸付：5人 継続貸付：20人
取組の評価	・茂原学については、10月の水害の関係で小学校３校のみの開催となった。 ・社会教育関係団体に対し、補助金交付等の活動支援を行った。 ・奨学金の貸付については、制度の周知に努めた。	
今後の方向性	・茂原に関する学習を今一度「茂原学」として整理しなおし、体系づける。 ・引き続き、社会教育団体の活動支援と指導者育成に努める。 ・奨学資金貸付制度については、引き続き適切な制度の管理運用に努めるとともに、2020年４月から始まった高等教育の無償化等を踏まえ、貸付制度の在り方について検討を行っていく。	

4－（２）安全・安心な教育環境の確保

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針４ 茂原を愛する心の育成	担 当 課	教育総務課 学校教育課 生涯学習課
施策区分	（２）安全・安心な教育環境の確保	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・学校施設の整備・修繕等を行い施設の安全性の確保を図る。 ・富士見中学校の大規模改造工事に着手し、安全性の確保及び学習環境の改善を図る。 ・市内小中学校及び幼稚園に空調設備を設置し、児童生徒の健康保持、学習環境の改善を図る。 ・関係機関と協力し、通学路の安全確保を図る。 ・安全・安心で温かく美味しい給食を提供するため茂原市学校給食センターをPFI方式により整備する。 ・社会教育・文化施設の適切な整備・維持管理に努めるとともに、設備等の充実を図る。
現状と課題	・学校施設の老朽化対策、トイレの洋式化やグラウンドの整備など教育環境の改善が求められている。 ・富士見中学校は老朽化が著しく、生徒の安全性の確保や学習環境の改善が求められている。 ・近年の酷暑による児童生徒の健康保持や、学習環境の改善が求められている。 ・通学路の安全点検確保のため、未整備箇所の早急な対応が求められている。 ・学校給食センターの工期内完成、令和元年度９月から安全・安心で温かく美味しい給食の提供が求められている。 ・社会教育施設等の老朽化対策が求められている。
求める成果	公立学校施設は、児童生徒などが一日の大半を過ごす活動の場であることから、老朽化の進んでいる学校施設の整備・修繕等を計画的に行い、施設の安全性の確保を図るとともに、教育施設、建築設備の安全点検を定期的に行い、適正な管理に務める。また、児童生徒の通学路の安全確保を図る。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
主な取組	学校施設整備・修繕	工事：小中学校 36 か所、幼稚園 5 か所 修繕：小中学校 65 か所、幼稚園 5 か所 小破修繕：小中学校 243 か所、幼稚園 19 か所
	通学路の整備	危険箇所 247 か所中 192 か所は改善済み
	学校給食センターの整備	建設工事完了（６月） 開業準備（７・８月） 給食の提供開始（９月）
	社会教育・文化施設の整備・修繕	工事：12 件 （中央公民館 2 件、本納公民館 2 件、鶴枝公民館 1 件、東部台文化会館 5 件、美術館・郷土資料館 2 件） 修繕：39 件 （中央公民館 14 件、本納公民館 2 件、鶴枝公民館 4 件、東部台文化会館 12 件、美術館・郷土資料館 7 件）

取組の評価	・学校施設の整備では、校舎の大規模改修などの老朽化対策や、空調設備設置などの教育環境の整備に努めた。 ・通学路の安全確保のため改善に努めた。未改善箇所の早期改善に努める。 ・学校給食センターの整備では、P F I 方式での整備を進めており、6 月に建設工事を完了させ、9 月より市内の全小中学校へ給食の提供を開始した。
今後の方向性	・今後も計画的に各施設の大規模改修等に取り組むとともに、危険性・緊急性を要する修繕等は速やかに行い、安全安心な施設整備を図る。また、トイレの洋式化やグラウンド整備など教育環境の充実に努める。

4－（３）文化財・伝統文化の維持、保存、活用の推進

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針４ 茂原を愛する心の育成	担 当 課	生涯学習課 美術館・郷土資料館
施策区分	（３）文化財・伝統文化の維持、保存、活用の推進	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・市内に現存する貴重な文化財を指定文化財として指定し、保護保存していく。 ・郷土芸能発表会を開催し、多くの市民に伝統芸能保存団体の活動の周知を図る。 ・郷土資料館の常設展示の充実に努めるほか、年２回のテーマ展等を開催し、郷土愛の育成に努める。 ・市史編さん委員会を開催するとともに、編さん委員等の調査を基に市史調査報告書を発行し、昨年度策定した基本方針や刊行計画に沿って、市史「資料編」「通史編」の刊行に向けてより具体的に進めていく。
現状と課題	・国指定天然記念物ミヤコタナゴ、ヒメハルゼミ発生地環境整備活動を地元住民や小学校と協力し実施した。引続き、生息地の環境整備や保護保存意識の高揚が求められる。また、市内に現存する文化財の調査を実施し散逸防止や保存活動が求められる。 ・七夕まつり開催中に郷土芸能発表会を開催し、お囃子や獅子舞などの郷土芸能の保存活動をしたが、演者の高齢化が課題となっている団体がある。 ・令和４年度からの市史刊行に向けて、市史編さん委員会を開催し、各時代の調査の実施、及び調査執筆委員の選定を進める必要がある。
求める成果	文化財の保護・保存を図るとともに、美術館・郷土資料館に展示し、文化財に対する理解を深め、郷土愛の育成に努める。また、伝統芸能保存団体の発表の場を提供し、伝統文化への理解と愛着を深める。市制施行 70 周年の市史発刊を目指す。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
主な取組	市指定文化財の新規指定、保護保存活動	「篠崎家文書」と「龍鑑寺欄間彫刻三面」の指定、地元住民等との協働による天然記念物の環境整備
	郷土芸能発表会の開催	七夕まつりに 3 団体が発表
	常設及びテーマ展の開催	常設展 収蔵資料の展示 19,164 人 テーマ展 年 2 回 20,304 人
	市史編さん委員会の開催	年 3 回開催
	市史調査・翻刻整理、調査報告書の刊行	市史調査 74 回 資料調査 46 回 市史調査報告書第 4 集の刊行 500 部
	調査執筆委員の委嘱	12 名に委嘱
取組の評価	・地元住民や小学生との協働により環境整備や調査活動を行い、天然記念物の保護に対する意識の高揚を図った。 ・市内の文化財 2 件を市指定文化財に指定し公表することで文化財に対する理解を深めた。 ・郷土芸能発表会を開催し郷土芸能の保護保存を図った。 ・郷土資料館テーマ展、常設展示により、多くの文化財の展示に努めた。 ・市史編さん事業では、市史編さん委員会を開催し、各時代の調査を実施した。また、調査執筆委員を選定した。	

今後の 方向性	・天然記念物の保護は、環境整備活動により保護が図られていることから、地元住民等との協力体制の更なる充実を図る。また、市内に現存する文化財の調査、指定、保存を進める。 ・郷土芸能発表会への参加が少ないことから、郷土芸能保存団体に対して、参加を呼びかけ発表会の充実を図る。 ・市史編さん事業については、市史の体裁を決定し、市史の執筆を進めるとともに、本事業の周知を図る。また、市史調査報告書の刊行を継続する。
--------------------	--

4－（４）学校・家庭・地域連携によるコミュニティーの形成

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針４ 茂原を愛する心の育成	担 当 課	学校教育課
施策区分	（４）学校・家庭・地域連携による コミュニティーの形成	取組状況	概ね順調

【施策の概要（令和元年度当初）】

施策内容	・学校・家庭・地域が連携し、授業や学校行事への協力、地域行事への児童生徒の積極的な参加を通して、地域ぐるみで児童生徒を育てよう努める。
現状と課題	・学校、家庭、地域の連携は進んでいるが、児童生徒の地域行事への参加については、改善すべき点がある。
求める成果	豊かな人間関係を育む地域コミュニティーをつくるため、学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実を図るとともに、課題解決に向けて協働できる仕組みづくりをより一層進める。

【令和元年度の取組に対する評価】

	内 容	活動指標
主な取組	学校から地域への情報発信	全 21 校でホームページの開設・更新
	地域人材を活用した稲作体験	14 小学校中 8 校で実施
	地域人材の活用	小学校全校および中学校の約半数で地域人材の活用
	児童生徒の地域行事への参加	全国学力・学習状況調査の結果では、小学校 6 年生で 60%、中学校 3 年生で 40%が参加
	地域の企業への職場見学や職場体験学習	全 21 校中 12 校で実施
取組の評価	・情報発信について、全 21 校で学校便りの発行、ホームページの開設および更新している。 ・地域人材の活用について、小学校を中心に生活科や総合的な学習の時間において「昔の遊び」（小 1）、「郷土の文化（鯛ちょうちん作り、本納風作り、獅子舞体験等）」（小総合）などを実施している。 ・全国学力・学習状況調査の結果では、小学校 6 年生で 60%、中学校 3 年生で 40%が参加しているが高いとは言えない。 ・職場見学や職場体験学習を実施していない学校でも、別の形で（「手作り未来教室」「職場体験学習」等）キャリア教育には取り組んでいる。	
今後の方向性	・地域人材として学校支援ボランティアの活用を促進する。 ・PTAや育成会などの関係諸団体との連携を強化していく。	

教育委員会の点検・評価報告書（令和元年度事業対象）

発行日 令和2年5月

発行 茂原市教育委員会

編集 教育部教育総務課

〒297-8511 茂原市道表1番地

電話：0475-20-1557

メール：k-soumu1@city.mobara.chiba.jp